

# Annual Report 2022

NAKANOSHIMA  
MUSEUM OF ART, OSAKA



# 2022年度 大阪中之島美術館 アニュアルレポート

## 「目次」

- I 大阪中之島美術館のビジョン
- II 大阪中之島美術館の活動方針
- III 事業報告
- IV 美術館の運営方法
- V 予算・決算
- VI 運営会社概要
- VII 施設概要
- VIII 大阪中之島美術館の沿革

# I 大阪中之島美術館のビジョン

2022年2月2日、大阪の中核であり、水都のシンボルである中之島にいよいよ新しい美術館が誕生しました。1990年に準備室が設置されてから30年もの年月が過ぎ、めざすべき美術館像は時代の流れの中で変わっていきました。21世紀に誕生した大阪の美術館として担う役割を以下のよう考えています。

## 1 歴史をつなぎ、未来を創造する

美術館の基本を「いま」に結び、「これまでにない」をめざすこと

19世紀後半から現代までの美術とデザインを専門とし、収集・保存、調査・研究、展示・公開・普及という美術館の本格的機能を果たすと共に、既存の枠にとらわれない大阪の進取の精神にならい、新しい創造活動を発掘し、支えます。

## 2 情報や知識、発見や感動の循環をうながす

美術館の扉を開くだけに留まらない。さらに先へ、進みひらいていくこと

誰でも気軽に立ち寄ることができる「パッサージュ（遊歩空間）」を中心に、魅力的な「場」として、知識や経験が交わる「機会」を生み出す美術館として、情報・人的資源の芽を育み、社会へと送り出し、その循環と活用を促進します。

## 3 つながりを原動力とする

「足りないこと」を可能性としてとらえ、手を取り合う相手を探すこと

多様な第三者との連携によって機能や事業の発展を図る「協働する美術館」、市民と共に学び合う「共育する美術館」として、大阪・中之島をはじめ、さまざまなコミュニティの一員として社会と共に変化し続けます。

## 4 大阪に貢献する

大阪の「これまで」を活かし、世界に「これから」を発信し、中之島にて、ひと・こと・ものが、歩みを共にすること

大阪の歴史が培ってきた文化的土壌に根を下ろし地域文化を育み、中之島の芸術文化ゾーンの中心の大阪の新しいシンボルとなる美術館として、大阪から全国へ、また世界に向けて、人々の心を動かす創造力を発信します。

## Ⅱ 大阪中之島美術館の活動方針

### 企画展

---

近代から現代に至る美術・デザインなどの造形文化を中心に、国内外のさまざまな分野の優れた作品や動向に注目した展覧会を開催します。作品の魅力を最大限に生かし、驚きや感動の場—心が揺すぶられ、わくわくする体験の場をつくります。これまでにない当館独自の視点によって、作品や作家、美術の流れやそれらを取り巻く状況を捉え、新しい意味や意義を開拓する企画や、今まさに展開する美術制作を現在進行形で追う試みなどを展開します。大阪から世界へ—大阪中之島美術館は、アートの新しい価値を発信し、問い掛けていきます。

### コレクション展

---

大阪中之島美術館が誇る約 6000 点（2022 年 3 月現在）のコレクションを、多彩なテーマによって紹介します。コレクション展は、美術館の“顔”であるアメデオ・モディリアーニや佐伯祐三の作品に出合える場所であり、コレクションの広がりや深みに触れる機会となります。世界的に高く評価される戦後の大阪の美術グループ「具体美術協会」と、このグループを先導した吉原治良の作品も、コレクションの重点の一つであり、その魅力を積極的に発信します。新収蔵作品や、充実した研究活動による新知見の発表など、絶えず内容の刷新につとめ、訪れるたびに新たな発見や気づきのある、変化し続けるコレクション展をめざします。

### ラーニング | リサーチ

---

大阪中之島美術館は、「学び合い」を活動の重要な軸とし、多様な背景や目的を持つ人びとと「共に」経験をつくり、積み上げていきます。企業や大学など外部組織との連携も、当館の活動の大きな機動力であり、「インダストリアルデザイン・アーカイブズ研究プロジェクト (IDAP)」や「クリエイティブアイランド中之島」などの協働プロジェクトを開館前より進めています。現存作家やアート関係者への「オーラルヒストリー（口述の歴史）」の聴取・公開も、重要な研究活動の一つです。当館が集積する「具体美術協会」をはじめとする資料群は、アーカイブズ情報室で広く公開され、学び合いに寄与します。

## アーカイブズ

---

大阪中之島美術館はアーカイブズの構築と運営を美術館の主要事業の一つとして位置付けています。2022年4月にアーカイブズ情報室の運営を開始し調査や閲覧に対応し、貴重な資料群の公開と活用を行っています。その柱の一つが具体美術協会に関するアーカイブです。「具体」の調査研究センターとしての機能を果たすとともに、作品と資料が同じ施設にあることを生かし、資料と作品との相乗的な展示を図ってまいります。また、広告史に関する萬年社の貴重な資料群や、会員制広告研究誌『プレスアルト』、大阪中之島美術館の整備や活動に関する資料群なども、アーカイブズとして整備していく予定です。

### III 年次報告書

#### 1. 企業の概況

当社は2020年4月1日に設立、2022年度は3期目にあたる。今年度は当初年間8本の展覧会を開催予定だったが、ロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギーコストの急激な上昇により、海外からの作品輸送費が当初想定の3倍以上になったことから「サラ・モリス展」の延期を決断し、年間7本の展覧会を開催した。

#### 2. 事業の状況

##### 「展覧会」

2022年2月の開業時に開催した「超コレクション展」（総入場者数：126,310人）に続き、今年春に開催した「モディリアーニ展」（総入場者数：145,766人）、夏に開催した「展覧会 岡本太郎」（総入場者数：162,534人）と来館者10万人超の展覧会が続いたこともあり、開業から僅か10か月で来場者が50万人を超え、日経トレンディ 2022年ヒット商品ベスト30で総合29位と施設大賞を獲得したのを皮切りに、「大阪活力グランプリ 2022」（グランプリ）や「関西元気文化圏賞」「関西財界セミナー特別賞」など各賞を受賞した。

「モディリアーニ展」（2022.4.9～7.18：90日間）：5階

目標：145,000人（1,648人/日） 総入場者数：145,766人（1,620人/日）

「みんなのまち 大阪の肖像（第1期）」（2022.4.9～7.3：75日間）：4階

目標：34,200人（450人/日） 総入場者数：19,131人（255人/日）

「みんなのまち 大阪の肖像（第2期）」（2022.8.6～10.2：51日間）：5階

目標：30,600人（450人/日） 総入場者数：14,516人（285人/日）

「展覧会 岡本太郎」（2022.7.23～10.2：63日間）：4階

目標：176,400人（2,800人/日） 総入場者数：162,534人（2,580人/日）

「すべて未知の世界へ - GUTAI 分化と統合」（2022.10.22～2023.1.9：68日間）：5階

目標：40,000人（588人/日） 総入場者数：23,549人（346人/日）

「ロートレックとミュシャ パリの10年」（2022.10.15～2023.1.9：74日間）：4階

目標：60,120人（835人/日） 総入場者数：53,796人（727人/日）

「大阪の日本画」（2023.1.21～4.2：63日間）：4階

目標：52,000人（825人/日） 総入場者数：43,093人（684人/日）

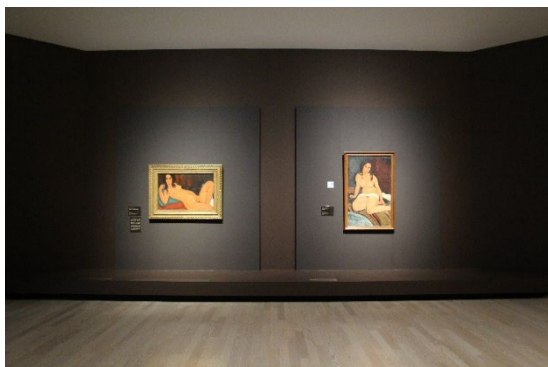
【年間】目標入場者数：538,320人 実総入場者数：462,385人

【開業後累計入場者数】588,695人

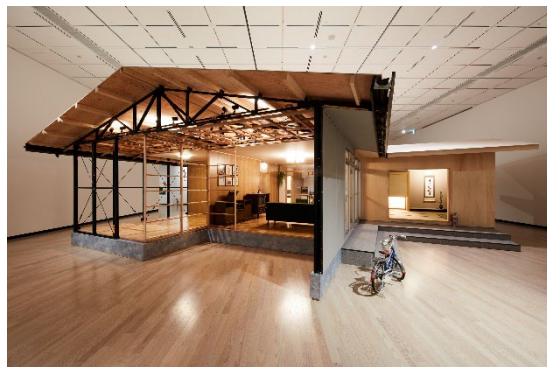


左図

展覧会来場者数 50 万人達成記念セレモニー  
記念品贈与



開館記念特別展 モディリアーニ ―愛と創作に捧げた 35 年― 展示風景



開館記念展 みんなのまち 大阪の肖像[第 2 期 「祝祭」との共鳴。昭和戦後・平成・令和] 展示風景



展覧会 岡本太郎 展示風景



大阪中之島美術館 国立国際美術館 共同企画 すべて未知の世界へ ― GUTAI 分化と統合 展示風景



ロートレックとミュシャ パリ時代の 10 年 展示風景



開館 1 周年記念特別展 大阪の日本画 展示風景



## 「Osaka Directory」

「Osaka Directory」は、大阪中之島美術館が関西・大阪21世紀協会と共同で主催する関西ゆかりの若手作家を中心とした個展形式での展覧会シリーズで、今後5年間でこれからの時代を象徴する新たな表現を生み出す作家を紹介していく。今年度は3人の作家紹介したが、第3回からはスポンサーとして RICHARD MILLE が加わり予算的にも余裕が出来たため、看視員を配置して来場者をカウントするなど、今後も質の高い展覧会を開催していく。

### Osaka Directory 1 赤鹿麻耶

2022年8月6日（土）－9月11日（日） 10:00－18:00

日常的な風景に、少しの演出を加えることで、実在しないもののリアリティや気配を作品にする作家。未発表作品を含む写真作品16点を180×120cmの超大判で出力し、アーティスト本人によるメモやドローイング、オブジェなどと共に展示した。

### Osaka Directory 2 貴志真生也

2022年11月23日（水・祝）－12月25日（日） 10:00－17:00

アーティストの手仕事や素材そのもののニュアンスをテーマとして、木材や建築資材、工業製品を用いて作品を制作。本展のための新作を含む、立体及びインスタレーション作品11点を展示した。

### Osaka Directory 3 supported by RICHARD MILLE 遠藤薫

2023年1月20日（金）－2月26日（日） 10:00－17:00 来場者数：15,289人

芭蕉布と沖縄・八重山列島をめぐるパイパティローマ伝説と、基地からの副産物で創られる沖縄の民芸の関係性がテーマ。今回のために石垣島で制作された丸木舟を中心とする、空間全体を一つの作品とするインスタレーションを発表した。



左上 Osaka Directory 1 赤鹿麻耶 展示風景

右上 Osaka Directory 2 貴志真生也 展示風景

左下 Osaka Directory 3 supported by RICHARD MILLE  
遠藤薫 展示風景



「展覧会以外の活動」

○アーカイブズ情報室 活動報告

活動開始日：2022 年 4 月 26 日

（閲覧受付を同日開始、5 月より閲覧利用受入）

【2022 年度 活動実績】

開室日 : 計 204 日間  
予約閲覧利用者 : 計 71 名（内キャンセル 計 8 名、実質 63 名）  
レファレンス対応 : 計 42 件  
収蔵資料（情報公開） : 公開 75 件  
収蔵図書（OPAC） : 図書登録 一般書 7,961 冊、雑誌 7,016 冊（295 タイトル）  
デジタルコンテンツ : 公開資料数 5180 件

○ラーニング・ユニークベニュー 実績報告

ラーニング（学校向けプログラム）

6/26 写真制作ワークショップ「光と物のかげあそび ぽわわわ〜〜ん」  
8/18、8/19 コミュニケーションプログラム「session 1 音をつくる」  
9/10、9/11 対話型鑑賞プログラム「おしゃべりアート時間」  
10/15 コミュニケーションプログラム「session 2 動きとあそぶ」  
1/7、1/8 対話型鑑賞プログラム「おしゃべりアート時間+ためして発見！」  
3/4 コミュニケーションプログラム「session 3 リズムと踊る」

ユニークベニュー

1 階 ホール : 38 件  
1 階 ワークショップルーム : 31 件  
2 階 多目的スペース : 10 件  
屋外（ロケ地利用） : 3 件

【主な利用実績】

6/8-6/10 ヒロコシノインターナショナル(株)（2F 多目的/ファッションショー）  
2/9-2/12 (株)やまと（1F ホール/着物展示会）  
10/4-10/10 GUCCI（2F 多目的他/クローズドブランド展示商談会）

## IV 予算・決算

「予算」

### 損益計算書

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日 (単位：円)

| 科目         | 金額          |                   |
|------------|-------------|-------------------|
| 売上高        | 989,880,000 |                   |
| 売上原価       | 574,833,000 |                   |
| 販売費及び一般管理費 | 365,951,000 |                   |
| 営業利益       |             | <b>49,096,000</b> |
| 営業外収益      |             |                   |
| 営業外費用      | 880,000     |                   |
| 経常利益       |             | <b>48,216,000</b> |

「決算」

### 貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

| 科目     | 金額                 | 科目       | 金額                 |
|--------|--------------------|----------|--------------------|
| 資産の部   |                    | 負債の部     |                    |
| 【流動資産】 | 406,681,411        | 【流動負債】   | 229,278,169        |
|        |                    | 【固定負債】   | 221,347,240        |
| 【固定資産】 | 172,806,105        | 負債合計     | <b>450,625,409</b> |
|        |                    | 純資産の部    |                    |
|        |                    | 【株主資本】   | 128,862,107        |
|        |                    | 純資産合計    | <b>128,862,107</b> |
| 資産合計   | <b>579,487,516</b> | 負債・純資産合計 | <b>579,487,516</b> |

### 損益計算書

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日 (単位：円)

| 科目           | 金額          |                    |
|--------------|-------------|--------------------|
| 売上高          | 899,168,283 |                    |
| 売上原価         | 284,322,420 |                    |
| 販売費及び一般管理費   | 470,782,093 |                    |
| 営業利益         |             | <b>144,063,770</b> |
| 営業外収益        | 2,642,059   |                    |
| 営業外費用        | 1,791,390   |                    |
| 経常利益         |             | <b>144,914,439</b> |
| 税引前当期純利益     |             | <b>144,914,439</b> |
| 法人税、住民税及び事業税 |             | <b>55,897,855</b>  |
| 法人税等調整額      |             | <b>△ 5,302,484</b> |
| 当期純利益        |             | <b>94,319,068</b>  |

## V 美術館の運営方法

大阪中之島美術館は、「民間の知恵を最大限活用しながら、顧客目線を重視し利用者サービスに優れたミュージアム」というコンセプトを掲げるとともに、大阪全体の都市魅力の発展・進化・発信のための重点取組にも位置付けられるなど、これまでにない新たな魅力を持った施設をめざしています。

このように、大阪の都市魅力を世界に発信する施設として、また、中之島のまちづくりに貢献する施設として、高い話題性と集客力が求められることから、新たな手法として、民間事業者が経営に直接携わることで創意工夫が最大限発揮される、PFI法（※1、※2）における公共施設等運営事業「コンセッション方式」を日本の美術館として初めて導入しました。これにより、今後、「効果的な情報発信や話題性のあるイベントの開催などによる集客力の強化」「魅力的なサービス施設の誘致などによる付加価値の向上」「官民連携によるエリアプロモーションの展開」などさまざまな効果を発揮してまいります。

PFIを担う事業者につきましては、2019（令和元）年度に地方独立行政法人大阪市博物館機構が実施した募集手続きにおいて、株式会社朝日ビルディングが優先交渉権者に選定され、翌年度4月1日付にて同社が設立した特別目的会社「株式会社大阪中之島ミュージアム」と公共施設等運営権実施契約を締結しました。

以上の経緯のもと、大阪中之島美術館は株式会社大阪中之島ミュージアムが運営しています。また、館長及び学芸員は地方独立行政法人大阪市博物館機構から、この大阪中之島ミュージアムに出向し、専門学芸員と民間のノウハウが融合することによる今日的な美術館モデルを模索しています。

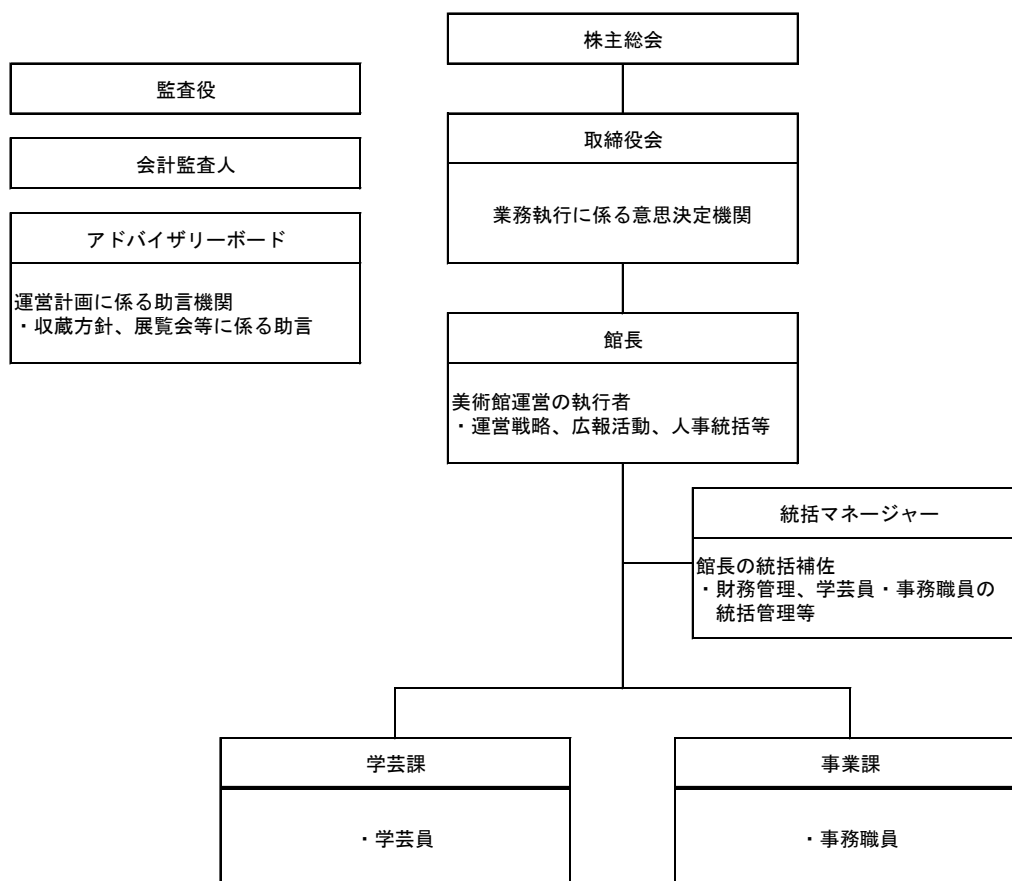
※1 PFI：Private Finance Initiative の略で、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、効率的で質の高い公共サービスの提供を図るもの

※2 PFI法：民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律

## VI 運営会社概要

商 号 株式会社 大阪中之島ミュージアム Osaka Nakanoshima Museum Co., Ltd.  
法人番号 1120001228271  
所 在 地 〒5300005 大阪市北区中之島 4 丁目 3 番 1  
設 立 日 2020 年 4 月 1 日  
資 本 金 1500 万円  
代 表 者 代表取締役 多賀谷 克彦  
営業種目 (1) 大阪中之島美術館の運営事業、不動産の管理  
(2) 前号に付帯関連する一切の業務

### 組 織 図

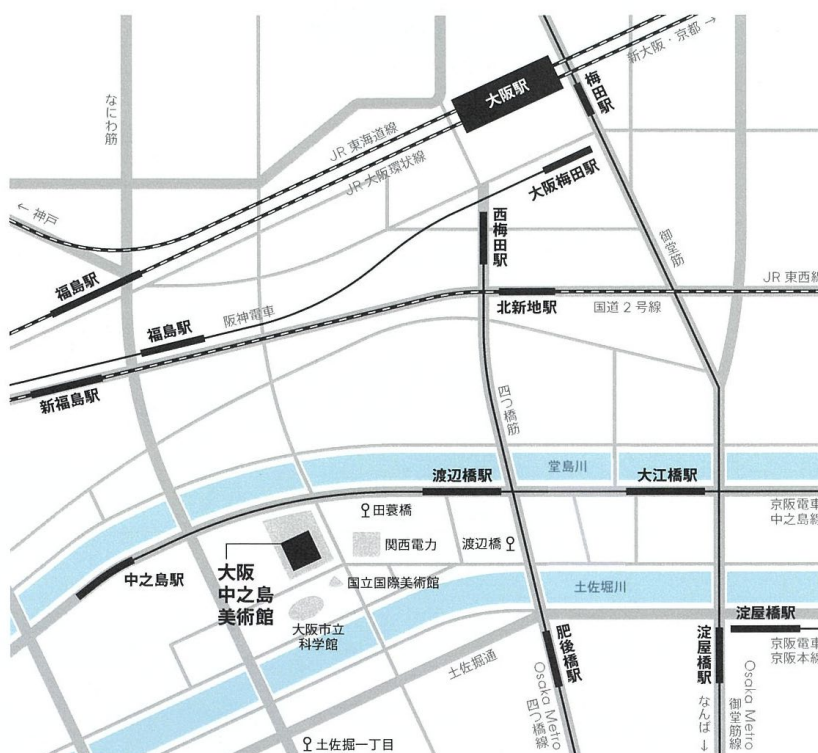


職員名簿 2023 年 3 月 31 日現在 21 名

## VII 施設概要

所在地 〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-1 ☎06-6479-0550（代表）

案内図



|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 構造・規模 | 鉄骨造、基礎免震、地上 5 階建                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 延床面積  | 17305 m <sup>2</sup> （駐車場・駐輪場除く）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 各床面積  | 1 階   ホール 411 m <sup>2</sup><br>ワークショップリーム 134 m <sup>2</sup><br>サービス施設（店舗） 712 m <sup>2</sup> レストラン、カフェなど<br>2 階   アーカイブズ情報室 70 m <sup>2</sup><br>親子休憩室 81 m <sup>2</sup><br>サービス施設（店舗） 221 m <sup>2</sup> ミュージアムショップなど<br>4 階   展示室 1   682 m <sup>2</sup> 天井高 4m／壁付展示ケース設置／可動間仕切設置<br>展示室 2   733 m <sup>2</sup> 天井高 4m／可動間仕切設置<br>5 階   展示室 3   591 m <sup>2</sup> 天井高 6m／可動間仕切設置<br>展示室 4   733 m <sup>2</sup> 同上<br>展示室 5   409 m <sup>2</sup> 同上 |

## VIII 大阪中之島美術館の沿革

- 1983 年 8 月 大阪市制 100 周年記念事業基本構想の一つに近代美術館の建設が盛り込まれた
- 1988 年 11 月 近代美術館構想委員会発足
- 1989 年 4 月 大阪市美術品等取得基金設置（基金額 30 億円）
- 1989 年 12 月 近代美術館構想委員会（近代美術館構想に関する答申）
- 1990 年 11 月 近代美術館建設準備室設置
- 1991 年 11 月 近代美術館基本計画委員会発足
- 1996 年 5 月 大阪大学医学部跡地の埋蔵文化財調査を実施し、船入遺構の石垣の列等を確認
- 1998 年 3 月 近代美術館基本計画委員会より、「近代美術館基本計画」の答申を受ける
- 1998 年 10 月 近代美術館建設用地として、大阪大学医学部跡地のうち、南半分 8000 m<sup>2</sup>を購入
- 2001 年 2 月 大阪大学医学部跡地船入遺構の現地説明会を実施
- 2002 年 3 月 埋蔵文化財現地調査終了
- 2003 年 2 月 北半分 8035.22 m<sup>2</sup>を国から購入
- 2004 年 10 月 「心斎橋展示室」開設
- 2012 年 11 月 「心斎橋展示室」閉室
- 2013 年 2 月 中之島に新しい美術館を整備することを、戦略会議で決定
- 2013 年 6 月 市立美術館と新美術館の「建物の統合」は行わず、東洋陶磁美術館を含めた 3 館について「経営統合」をめざすことを戦略会議で決定
- 2014 年 4 月 戦略会議において「新美術館整備方針（案）」の内容を確認し、2020 年度までの開館をめざすことを決定
- 2014 年 9 月 「新美術館整備方針」を策定
- 2016 年 3 月 施設整備は公共で実施し、運営に PFI 手法を導入する方針を決定
- 2017 年 2 月 公募型設計競技（設計コンペ）により設計者を選定
- 2017 年 9 月 基本設計業務完了
- 2018 年 10 月 美術館の名称が公募により「大阪中之島美術館」に決定
- 2018 年 11 月 大阪新美術館建設準備室を大阪中之島美術館準備室に改称
- 2019 年 2 月 建設工事着手
- 2019 年 3 月 公募型プロポーザルにより VI デザイナーを選定
- 2019 年 4 月 地方独立行政法人大阪市博物館機構設立
- 2019 年 6 月 大阪中之島美術館の運営における PFI 事業の実施方針の公表 特定事業の選定及び募集要項等の公表
- 2020 年 2 月 PFI 事業の優先交渉権者の公表
- 2020 年 4 月 株式会社大阪中之島ミュージアムと 公共施設等運営権実施契約を締結
- 2021 年 7 月 建物引渡し 現地にて業務開始
- 2022 年 2 月 開館 オープニング展「超コレクション展」開催（2/2～3/21）





大阪中之島  
美術館

NAKANOSHIMA  
MUSEUM OF ART,  
OSAKA